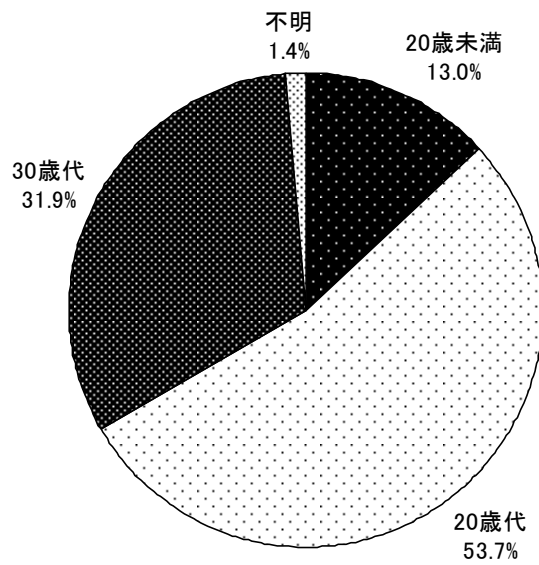


第5章 調査結果（一般）

問1 年齢

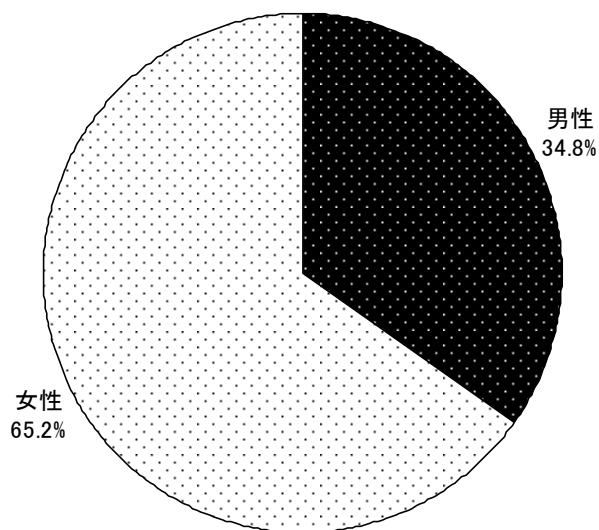
年齢をみると、「20歳代」53.7%、「30歳代」31.9%、「20歳未満」13.0%となっています。



N:69

問2 性別

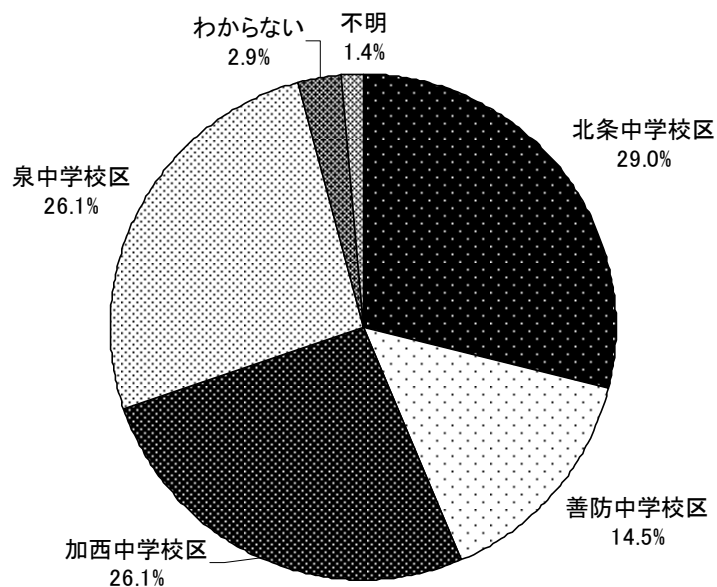
性別をみると、「女性」65.2%、「男性」34.8%となっています



N:69

問3 お住まいの中学校区

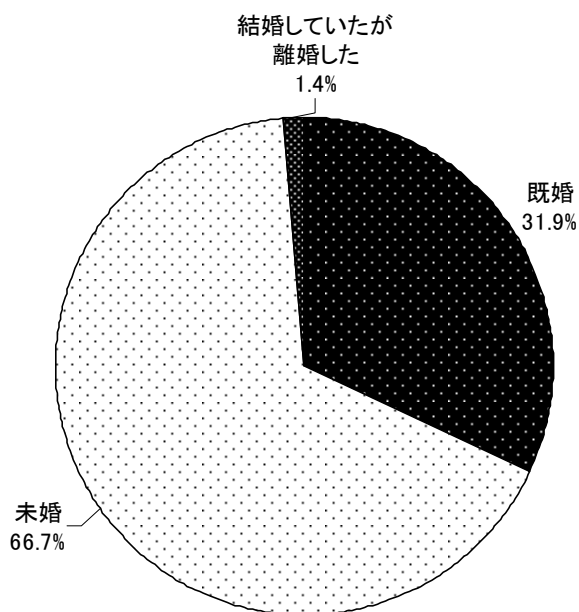
お住まいの中学校区をみると、「北条中学校区」29.0%が最も多く、次いで「加西中学校区」、「泉中学校区」26.1%、「善防中学校区」14.5%の順となっています。



N:69

問4 結婚の有無

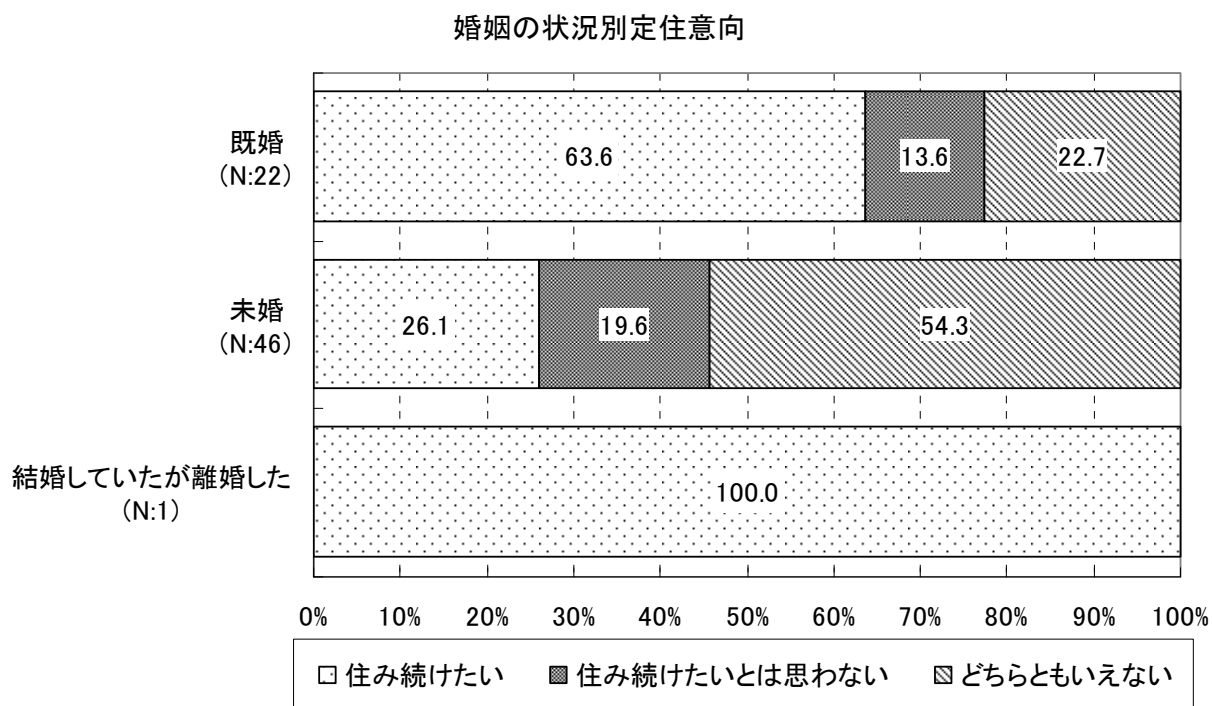
結婚の有無をみると、「未婚」66.7%が最も多く、次いで「既婚」31.9%、「結婚していたが離婚した」1.4%の順となっています。



N:69

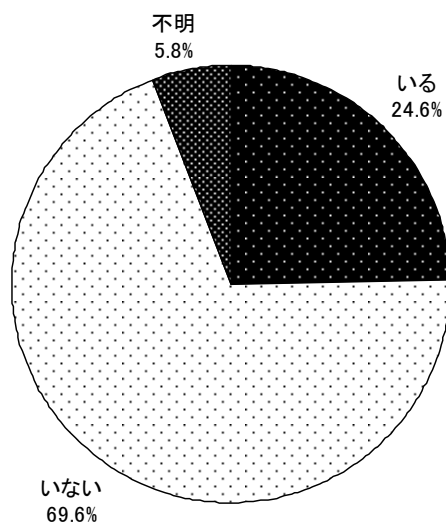
■ 結婚の有無別定住意向（クロス集計）

婚姻の状況別に定住意向をみると、既婚者は「住み続けたい」63.6%が最も多く、未婚者は「どちらともいえない」54.3%が最も多くなっており、婚姻の状況により差がみられます。



問5 お子さんの有無

お子さんの有無をみると、「いない」69.6%、「いる」24.6%となっています。

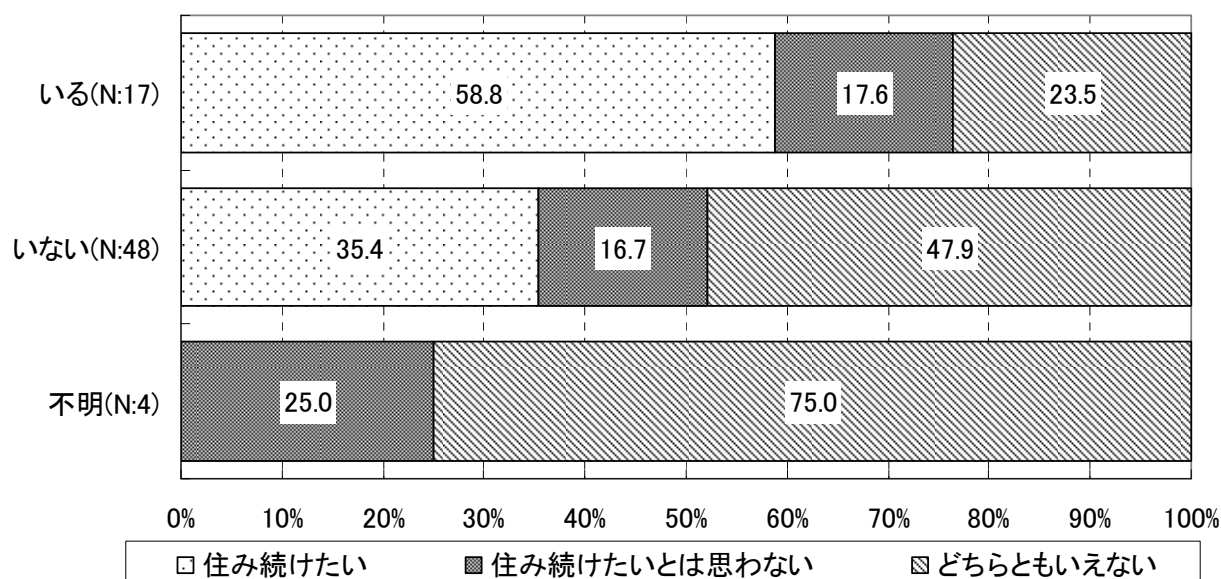


N:69

■ お子さんの有無別定住意向（クロス集計）

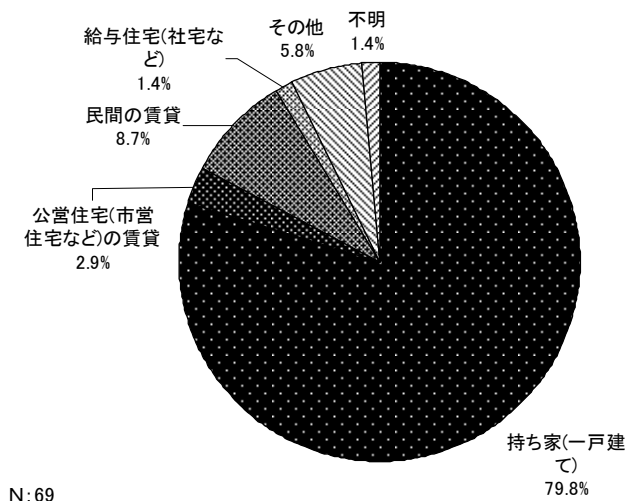
お子さんの有無別に定住意向をみると、いる方は「住み続けたい」58.8%が最も多く、いない方は「どちらともいえない」47.9%が最も多くなっており、お子さんの有無により差がみられます。

子どもの有無別定住意向



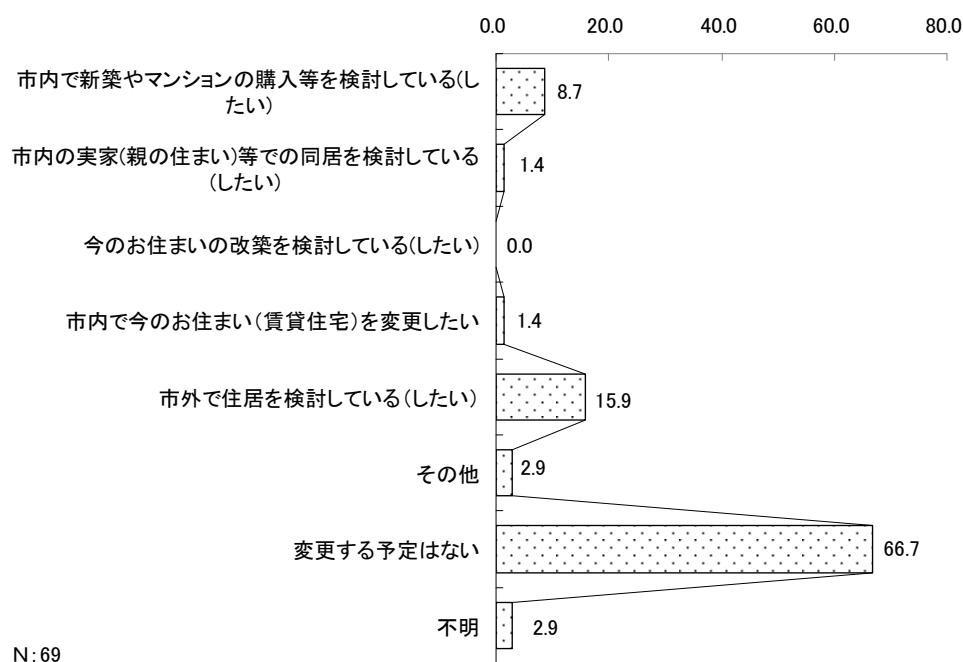
問6 現在の住まいの形態

現在の住まいの形態をみると、「持ち家（一戸建て）」79.8%が最も多く、次いで「民間の賃貸」8.7%、「その他」5.8%、「公営住宅（市営住宅など）の賃貸」2.9%、「給与住宅（社宅など）」1.4%の順となっています。



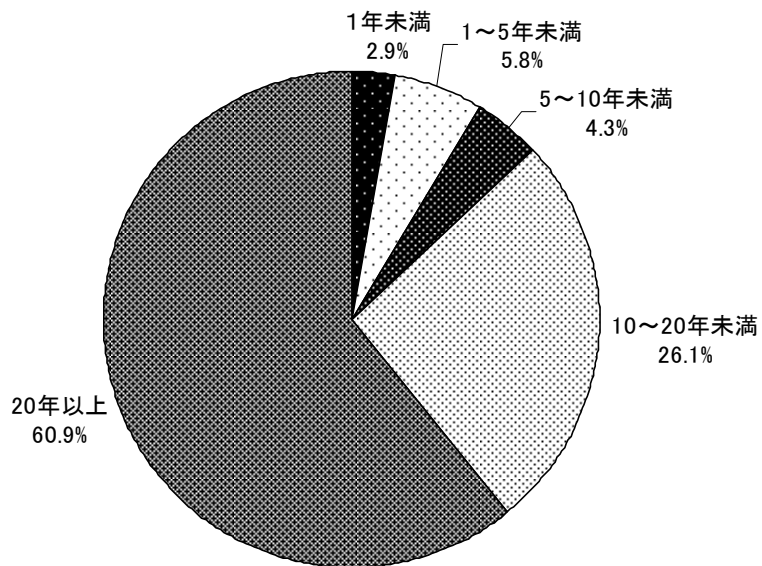
問7 5年以内に住まいを変更する予定

5年以内に住まいを変更する予定をみると、「変更する予定はない」66.7%が最も多く、次いで「市外で住居を検討している(したい)」15.9%、「市内で新築やマンションの購入等を検討している(したい)」8.7%の順となっています。



問8 加西市に住んでいる期間

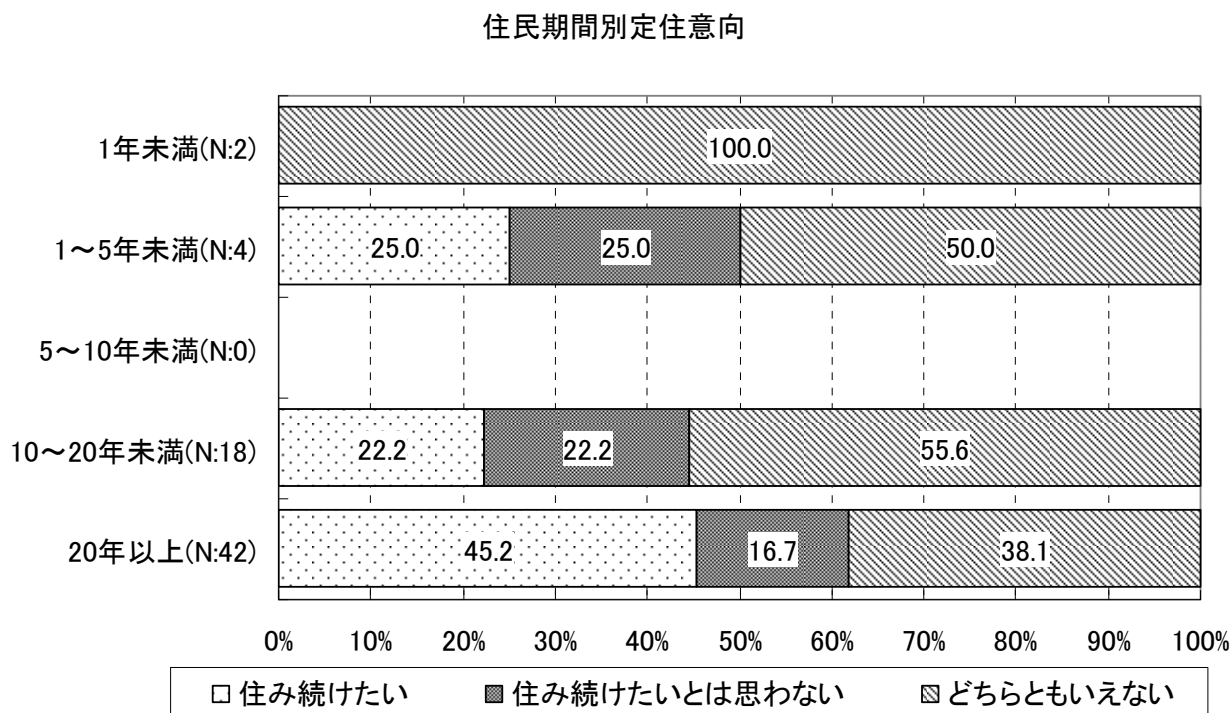
加西市に住んでいる期間をみると、「20年以上」60.9%が最も多く、次いで「10～20年未満」26.1%、「1～5年未満」5.8%、「5～10年未満」4.3%、「1年未満」2.9%の順となっています。



N:69

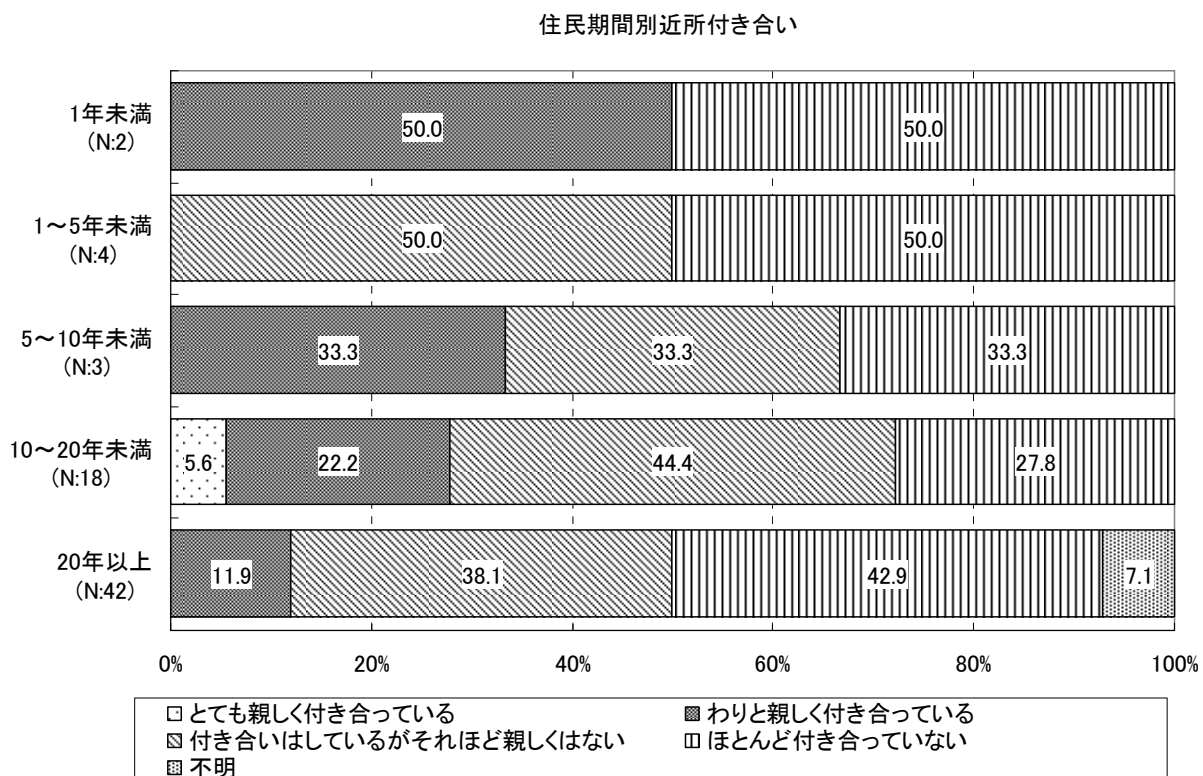
■ 住民期間別定住意向（クロス集計）

加西市に住んでいる期間別に定住意向をみると、住んでいる期間が長くなればなるほど「住み続けたい」と思う傾向になっています。



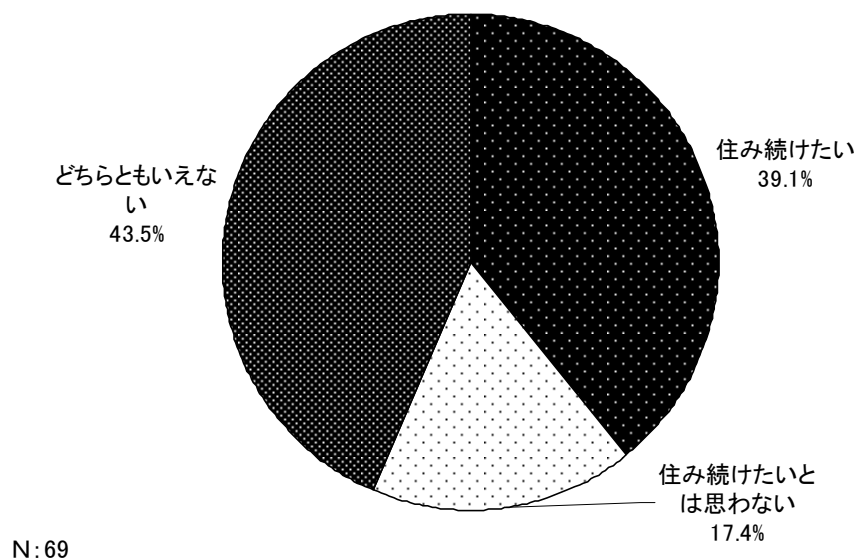
■ 住民期間別近所付き合い（クロス集計）

加西市に住んでいる期間別に近所付き合いの状況を見ると、住んでいる期間が長くなればなるほど、近所付き合いをしている傾向になります。



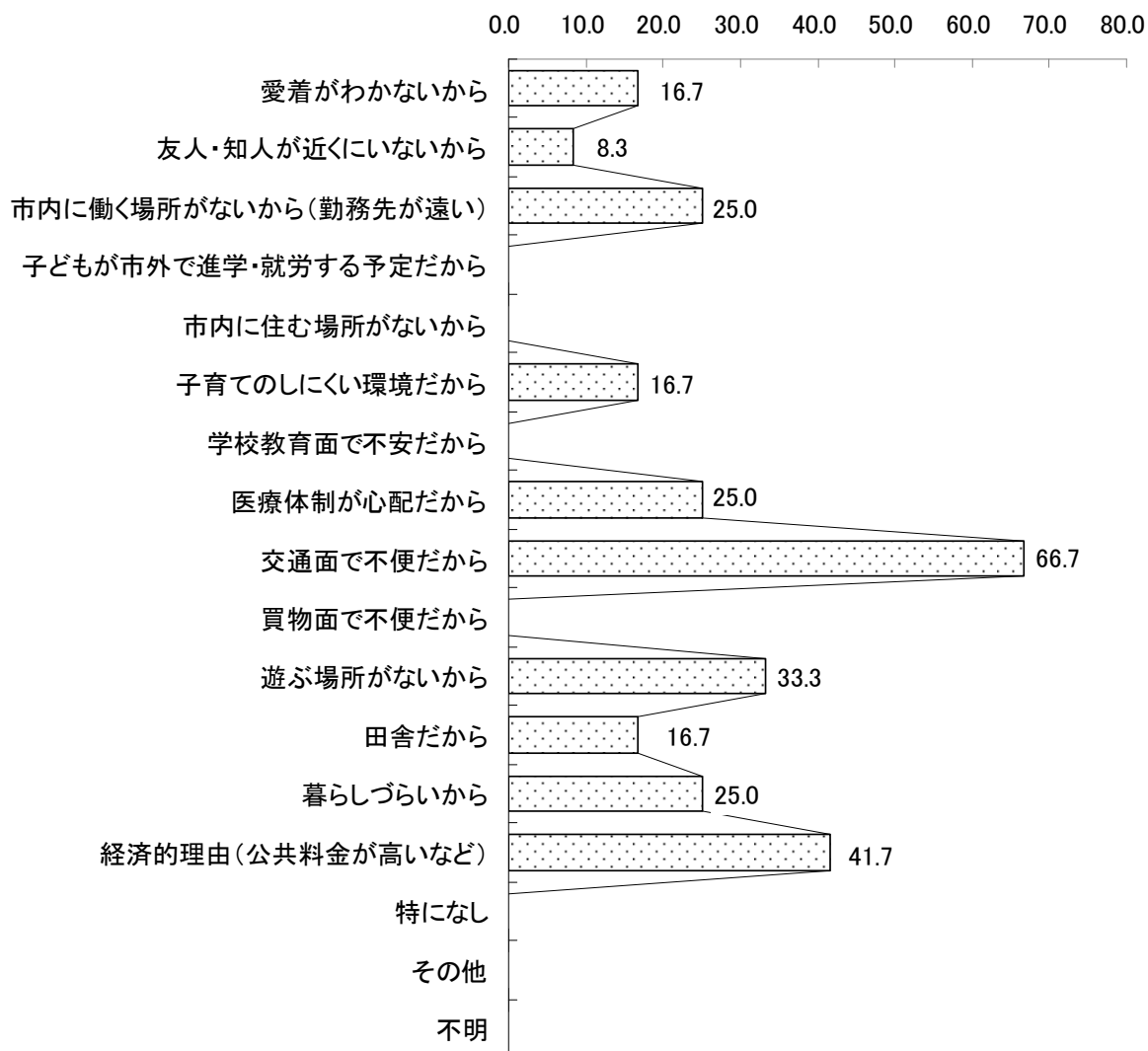
問9 これからも加西市に住みたいか

これからも加西市に住みたいかについてみると、「どちらともいえない」43.5%が最も多く、次いで「住みたい」39.1%、「住みたいとは思わない」17.4%の順となっています。



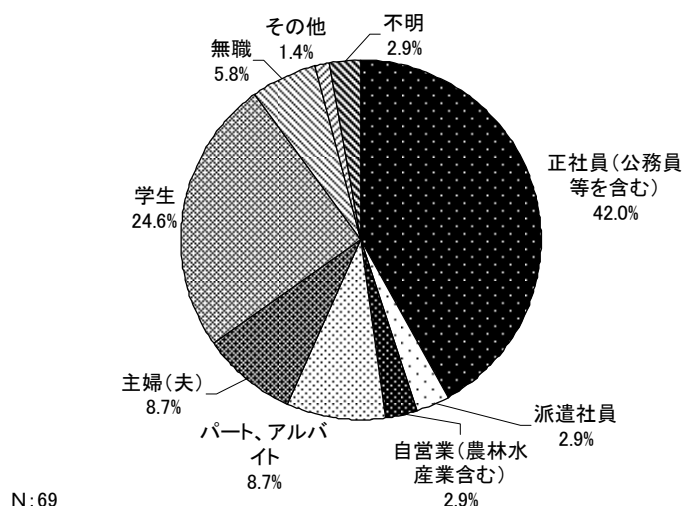
問 9-1 住み続けたいと思わない理由

住み続けたいと思わない理由をみると、「交通面で不便だから」66.7%が最も多く、次いで「経済的理由（公共料金が高いなど）」41.7%、「遊ぶ場所がないから」33.3%、「市内に働く場所がないから（勤務先が遠い）」、「医療体制が心配だから」、「暮らしづらいから」25.0%の順となっています。



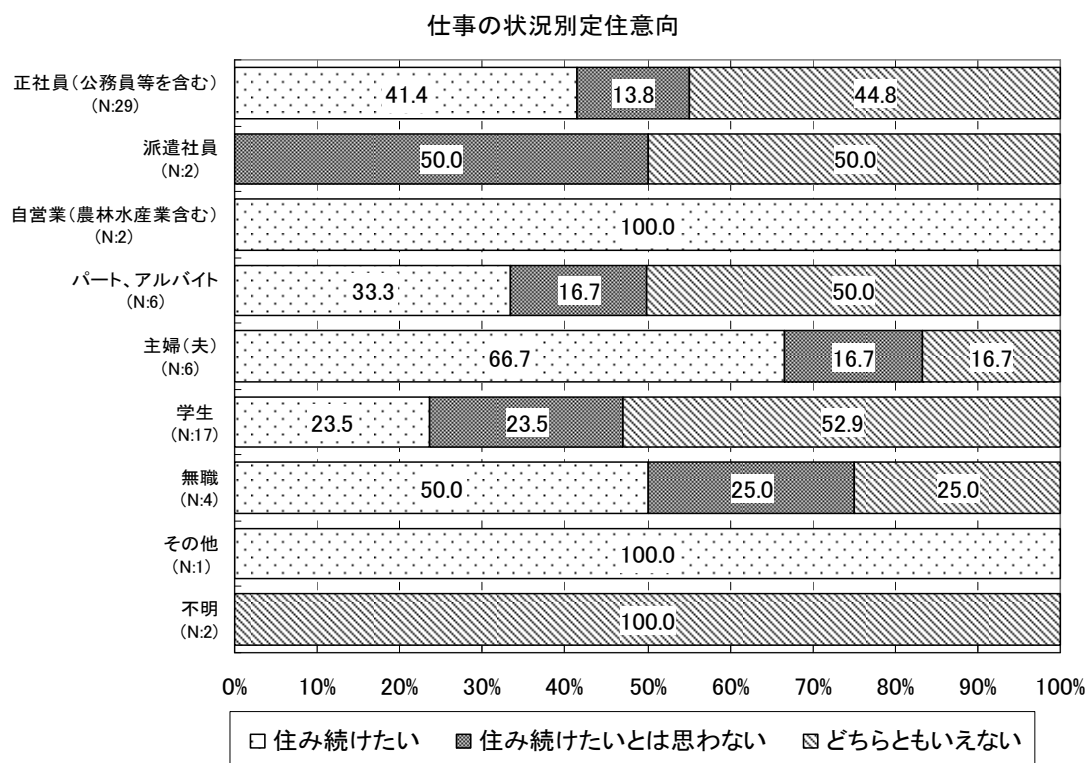
問10 仕事の状況

仕事の状況をみると、「正社員（公務員等を含む）」42.0%が最も多く、次いで「学生」24.6%、「パート、アルバイト」8.7%、「主婦（夫）」8.7%、「無職」5.8%の順となっています。



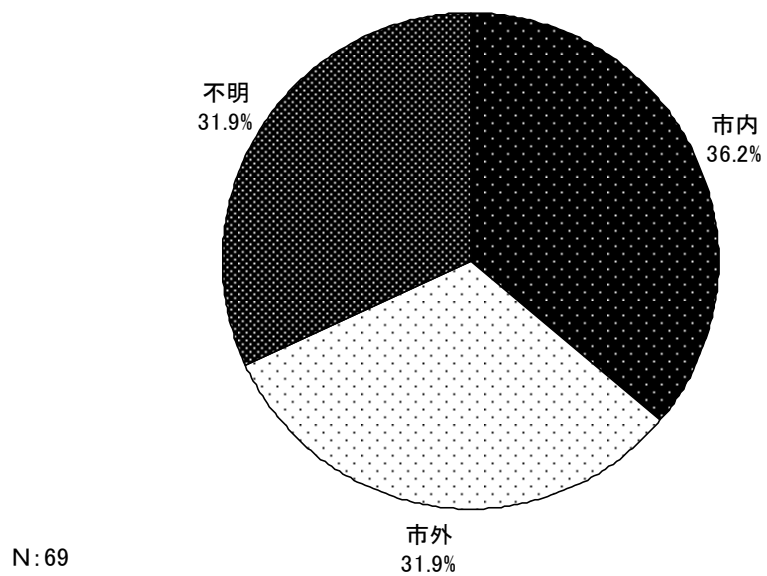
■ 仕事の状況別別定住意向（クロス集計）

仕事の状況別に定住意向をみると、「住み続けたい」と思う方は「自営業（農林水産業含む）」、「主婦（夫）」で多くなっており、「住み続けたいとは思わない」と思う方は「派遣社員」、「無職」、「学生」で多くなっています。



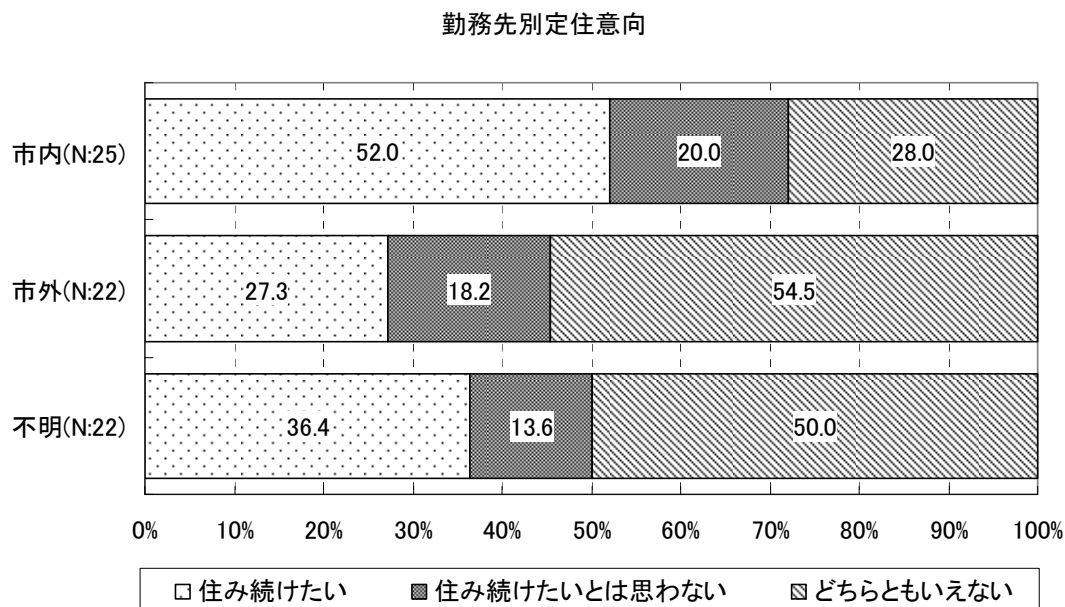
問11 勤務先

勤務先をみると、「市内」36.2%、「市外」31.9%となっています。



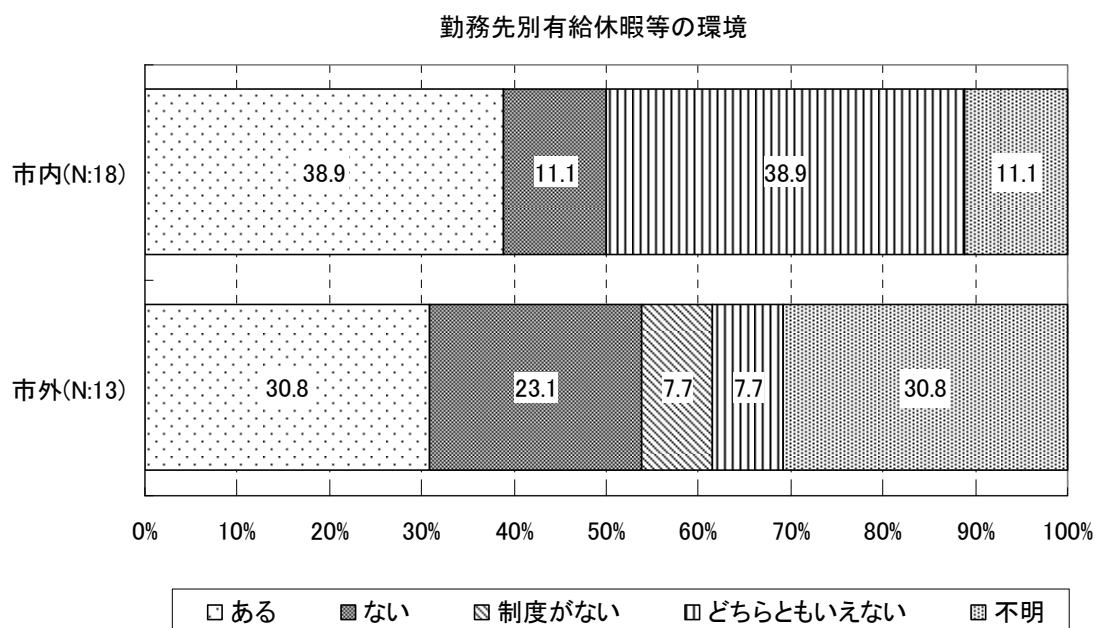
■ 勤務先別定住意向（クロス集計）

勤務先別に定住意向をみると、市内にお勤めの方は「住み続けたい」が多く、市外にお勤めの方は「どちらともいえない」が多くなっており、勤務先の状況により差がみられます。



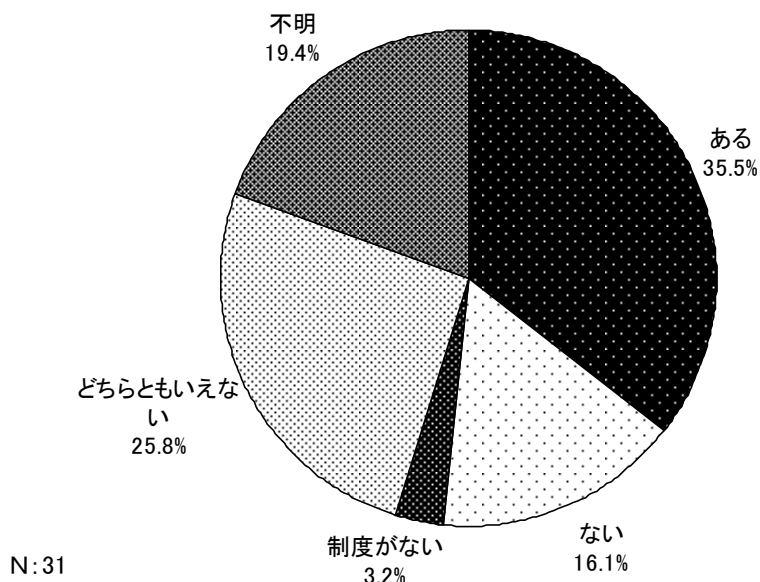
■ 勤務先別有給休暇等の環境（クロス集計）

勤務先別に有給休暇等の環境をみると、市外にお勤めの方は、市内にお勤めの方に比べ、有給休暇が「ない」「制度がない」が多くなっています。



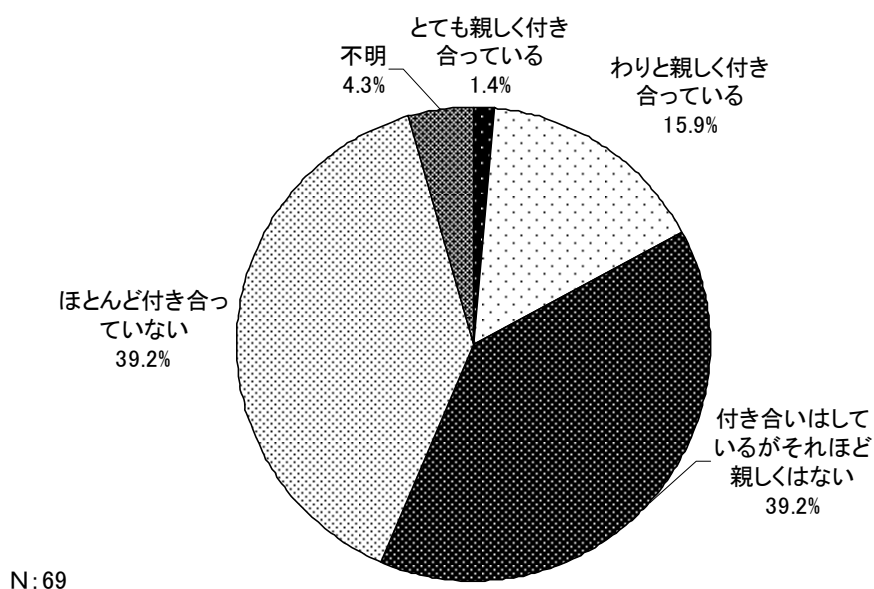
問12 職場での有給休暇、育児休業の状況

職場での有給休暇、育児休業の状況をみると、「ある」35.5%が最も多く、次いで「どちらともいえない」25.8%、「ない」16.1%、「制度がない」3.2%の順となっています。



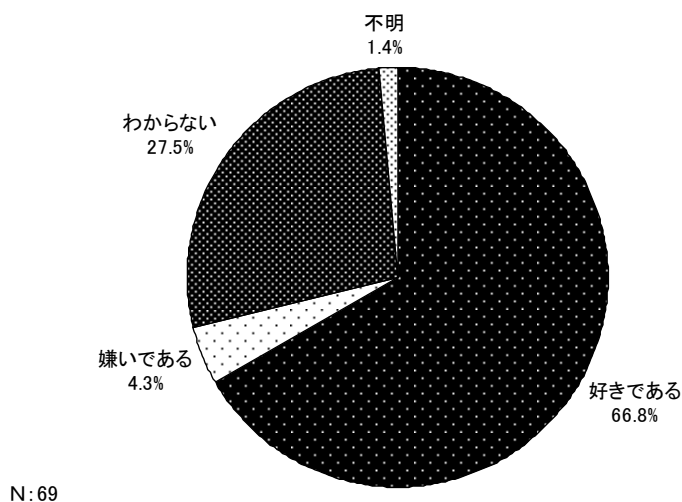
問13 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度をみると、「付き合いはしているがそれほど親しくはない」、「ほとんど付き合いがない」39.2%が最も多く、次いで「わりと親しく付き合っている」15.9%の順となっています。



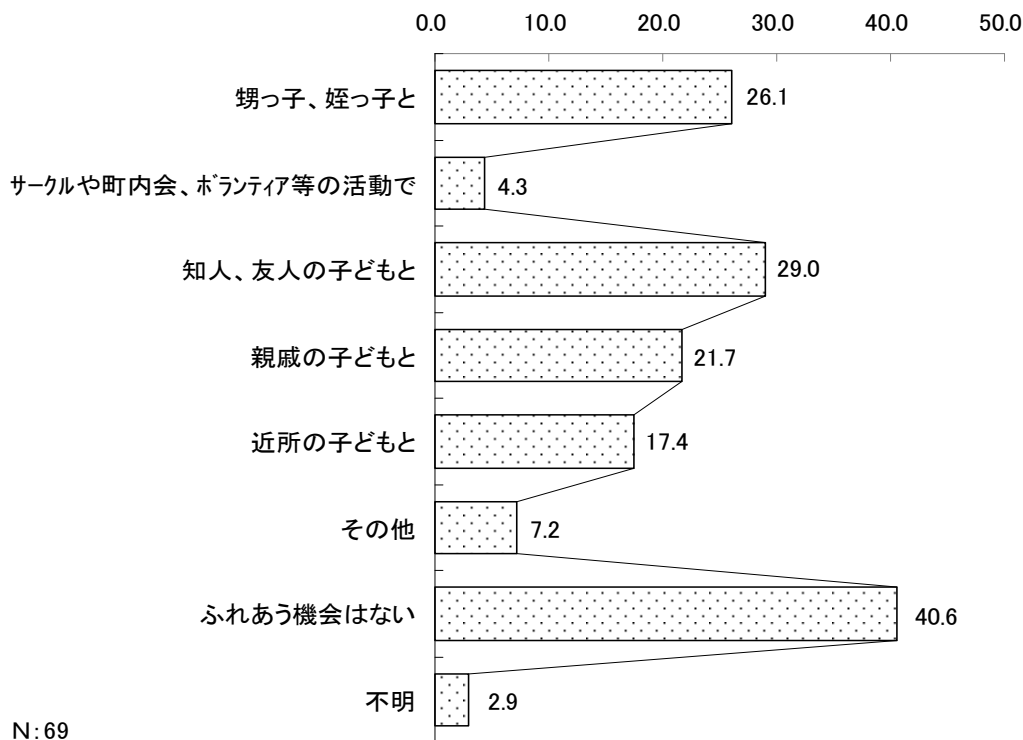
問14 子どもが好きか

子どもが好きかについてみると、「好きである」66.8%が最も多く、次いで「わからない」27.5%、「嫌いである」4.3%の順となっています。



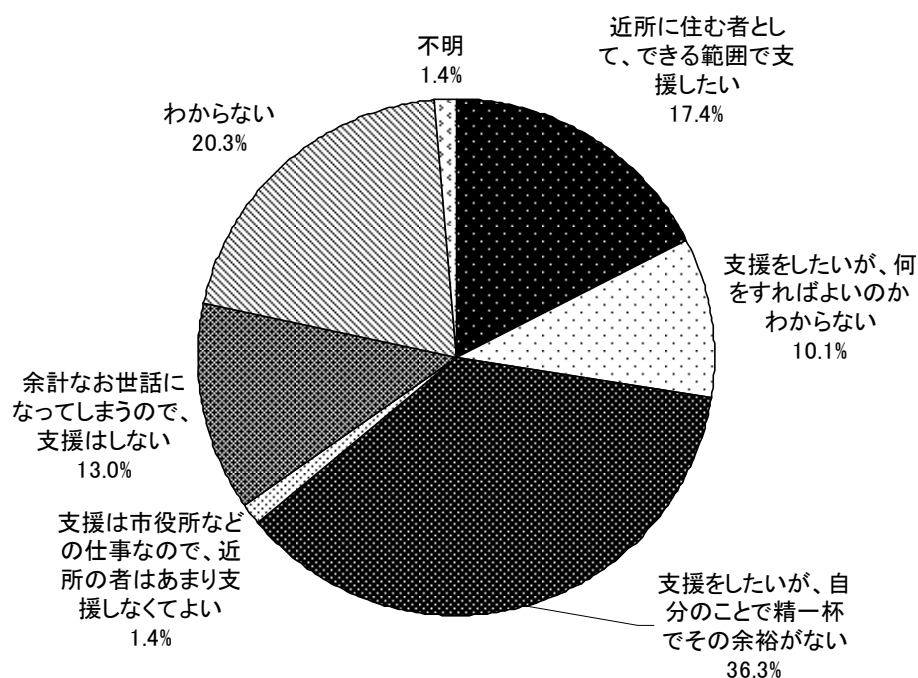
問15 自分の子ども以外で乳幼児とふれあう機会

自分の子ども以外で乳幼児とふれあう機会をみると、「ふれあう機会はない」40.6%が最も多く、次いで「知人、友人の子どもと」29.0%、「甥っ子、姪っ子と」26.1%、「親戚の子どもと」21.7%、「近所の子どもと」17.4%の順となっています。



問16 近所に住む子育てをしている家族に対する支援

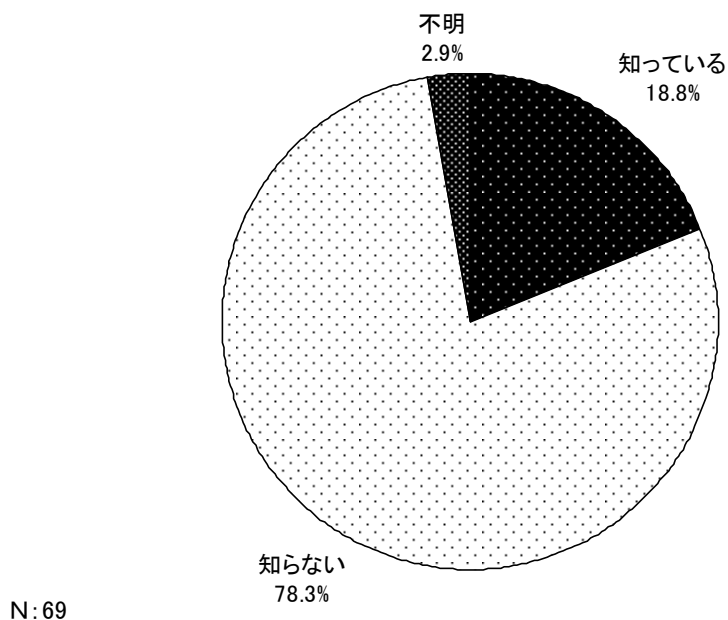
近所に住む子育てをしている家族に対する支援についてみると、「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」36.3%が最も多く、次いで「わからない」20.3%、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」17.4%、「余計なお世話になってしまうので、支援はしない」13.0%、「支援をしたいが、何をすればよいのかわからない」10.1%の順となっています。



N:69

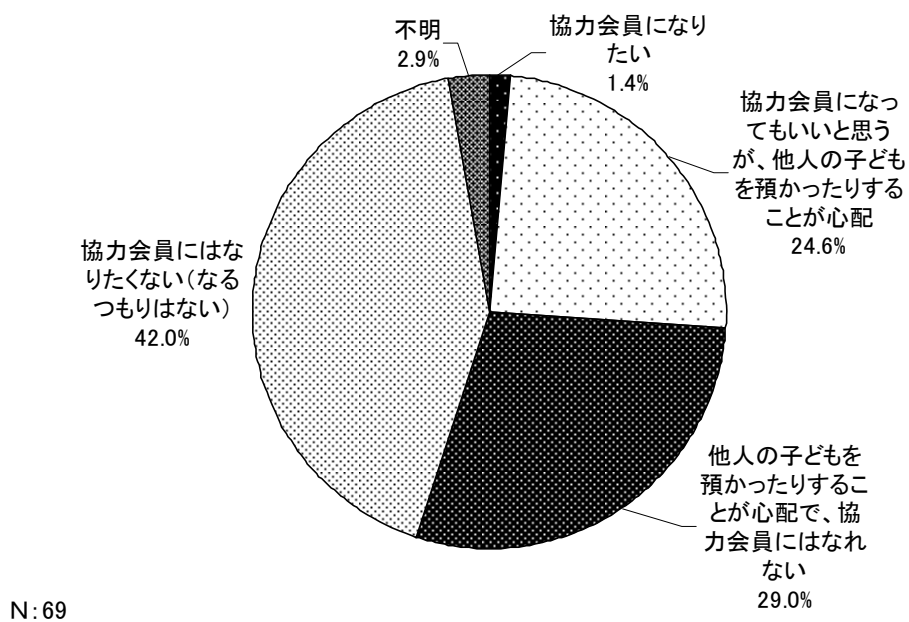
問17 ファミリーサポートセンターの認知度

ファミリーサポートセンターの認知度をみると、「知らない」78.3%、「知っている」18.8%となっています。



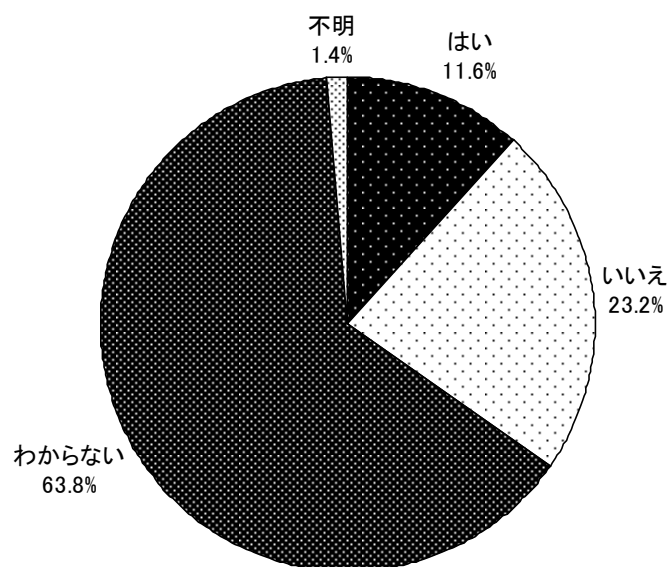
問18 ファミリーサポートセンターの協力会員について

ファミリーサポートセンターの協力会員についてみると、「協力会員になりたくない(なるつもりはない)」42.0%が最も多く、次いで「他人の子どもを預かったりすることが心配で、協力会員にはなれない」29.0%、「協力会員になってもいいと思うが、他人の子どもを預かたりすることが心配」24.6%の順となっています。



問19 加西市は子育てしやすい環境にあるか

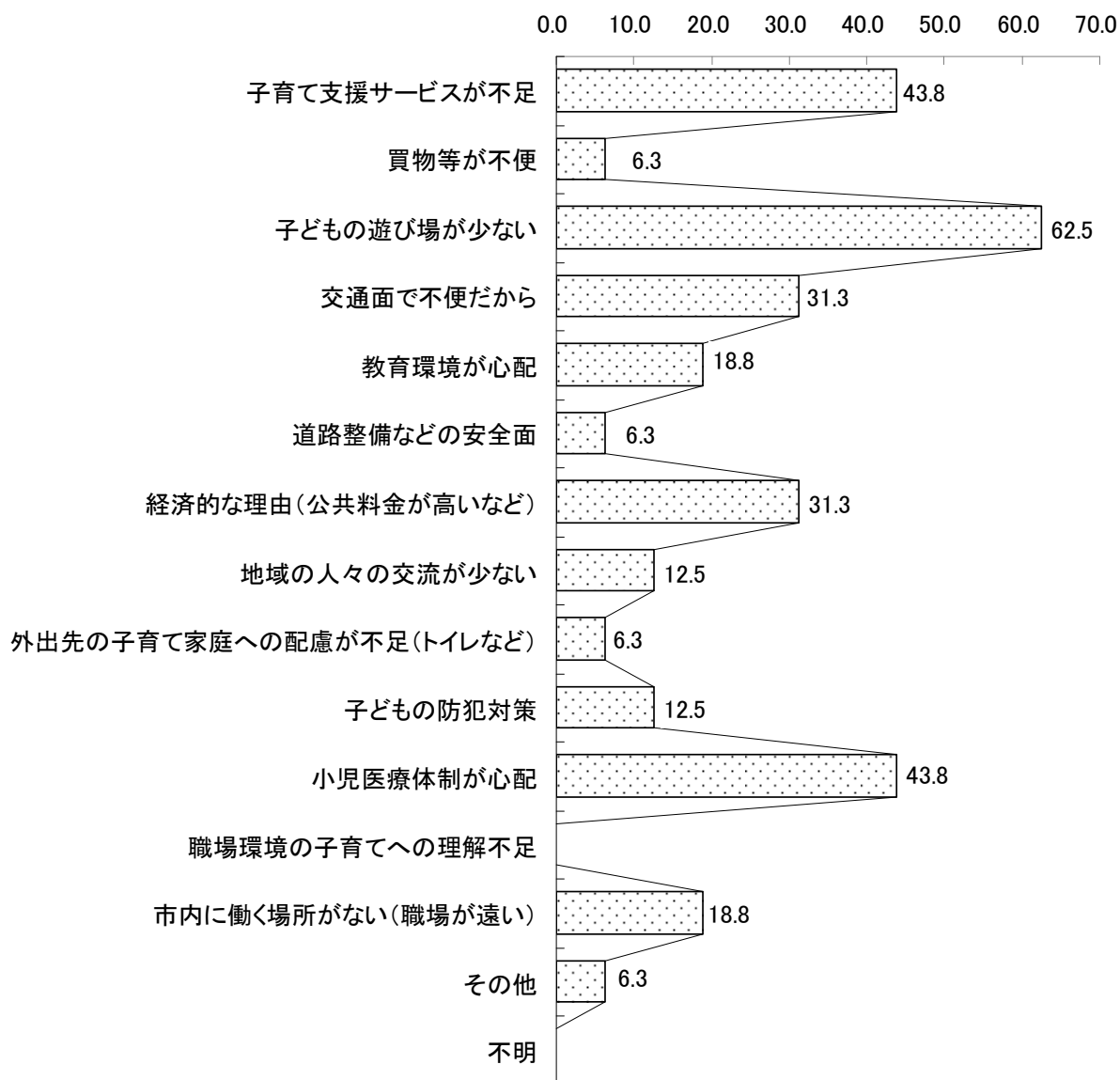
加西市は子育てしやすい環境にあるかについてみると、「わからない」63.8%が最も多く、次いで「いいえ」23.2%、「はい」11.6%の順となっています。



N: 69

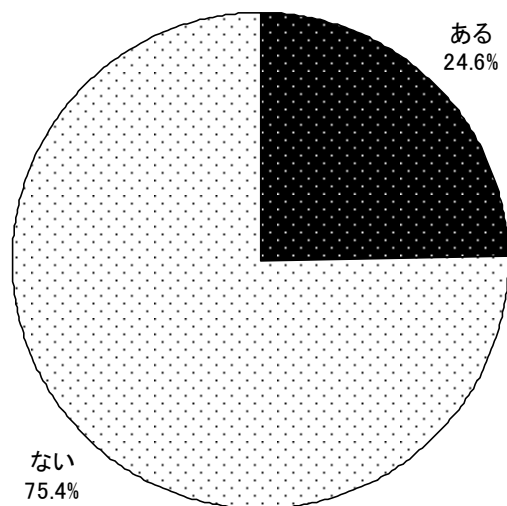
問 19-1 子育てがしにくいと思う理由

子育てがしにくいと思う理由をみると、「子どもの遊び場が少ない」62.5%が最も多く、次いで「子育て支援サービスが不足」、「小児医療体制が心配」43.8%、「交通面で不便だから」、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」31.3%、「教育環境が心配」、「市内に働く場所がない（職場が遠い）」18.8%の順となっています。



問20 ワークライフバランスについて

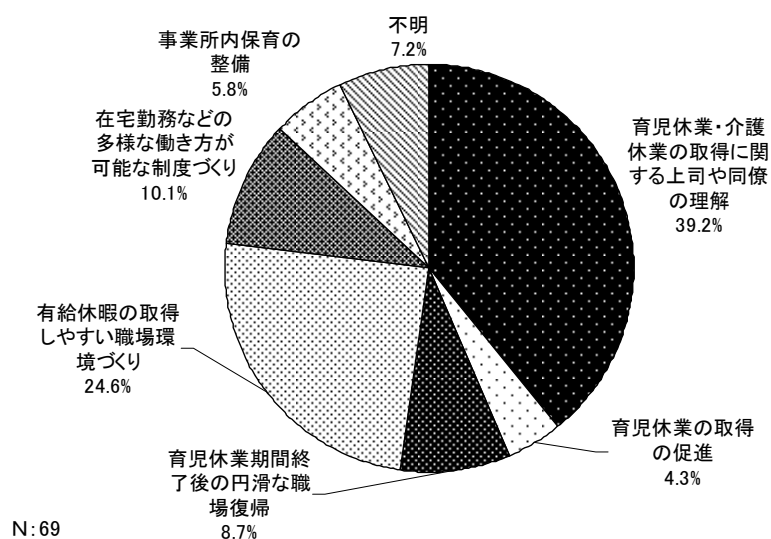
ワークライフバランスという言葉を知ったことがあるかをみると、「ない」75.4%、「ある」24.6%となっています。



N:69

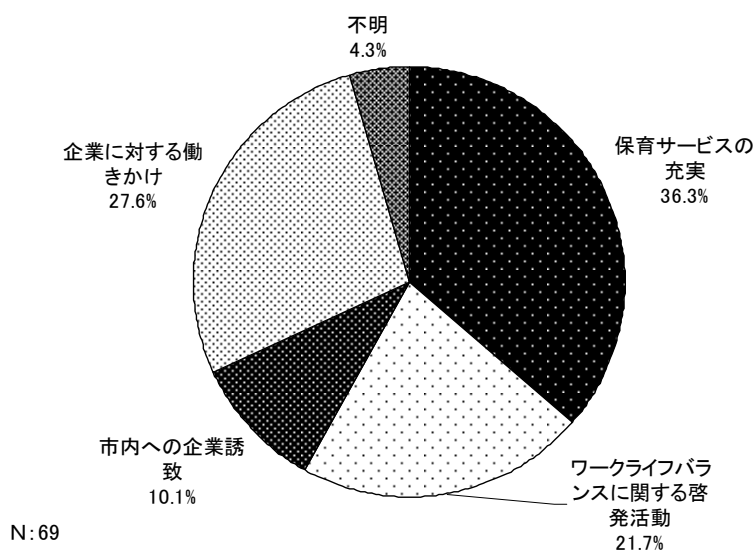
問21 仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なこと

仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なことをみると、「育児休業・介護休業の取得に関する上司や同僚の理解」39.2%が最も多く、次いで「有給休暇の取得しやすい職場環境づくり」24.6%、「在宅勤務などの多様な働き方が可能な制度づくり」10.1%、「育児休業期間終了後の円滑な職場復帰」8.7%、「事業所内保育の整備」5.8%、「育児休業の取得の促進」4.3%の順となっています。



問22 仕事と子育ての両立をはかるため、加西市において必要なこと

仕事と子育ての両立をはかるため、加西市において必要なことをみると、「保育サービスの充実」36.3%が最も多く、次いで「企業に対する働きかけ」27.6%、「ワークライフバランスに関する啓発活動」21.7%、「市内への企業誘致」10.1%の順となっています。



問23 子どもを育てる上での地域づくり

子どもを育てる上での地域づくりについてみると、「子ども会活動、地域の人とふれあう機会を増やす」23.2%が最も多く、次いで「わからない」18.8%、「隣近所等の交流をもっと増やす」15.9%、「他人の子どもを叱ってくれる地域づくり」、「三世代の交流ができる地域づくり」13.0%、「スポーツマンや遊び等の指導をしてくれる人のいる地域づくり」8.7%の順となっています。

